

さいたま市立大谷場中学校 各教科の内容と評価観点 [社会]

教科の目標	○社会に対する関心が高く、多面的・多角的に考察することができる。 ○民主主義に対する理解を深め、国民主権を担う公民としての基礎的教養を身に付ける。
-------	--

2 年	項目	主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
	観点	社会的事象についての知識・技能	社会的な思考・判断・表現	社会的事象へ学びに向かう力
	評価の重点	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解できる。 ・資料を活用して学習課題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を把握して自分の考えや意見をまとめ、表現することができる。 ・多様な意見や考えを認め合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業に参加している。 (工夫した発表、内容のある発言や質問) ・作業的な学習や調べ学習など課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに意欲的に取り組むことができる。 ・時事的な問題に関心を持っている。

	単元・教材・題材 等	学習目標・学習内容・学習活動 等	評価の方法
1 学 期	≪歴史的分野≫ 4 東アジア世界とのかかわりと社会の変動 5 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 ≪地理的分野≫ 第2章 日本の地域的特色と地域区分 ①自然環境 ②人口 ③資源・エネルギーと産業 ④地域間の結びつき	○農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、禅宗の文化的な影響などを通して、武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解する。 ○戦国の動乱、ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを通して、近世社会の基礎がつくられていったことを理解させる。 ○世界的視野や日本の地域的特色を取り上げ、我が国の国土の特色を様々な面から大観する。	○授業観察 (発表、発言、質問の内容) ○ノートの作り方の工夫 ○問題集、課題への取り組み方、工夫 ○自主的な課題追究 ○定期テスト ○小テスト

	<p>《歴史的分野》</p> <p>第4章 近世の日本</p> <p>1節 ヨーロッパ人の出会いと全国統一</p> <p>2節 江戸幕府の成立と対外政策</p> <p>3節 産業の発達と幕府政治の動き</p>	<p>○戦国の動乱、ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを通して、近世社会の基礎が作られたことを理解する。</p> <p>○江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策、身分制度の確立及び農村の様子、鎖国下の対外関係などを通して、江戸幕府の政治的特色を考え、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。</p> <p>○産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを通して、町人文化が都市に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解する。</p> <p>○社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを通して、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解する。</p>	
2 学 期	<p>《地理的分野》</p> <p>第3章 日本の諸地域</p> <p>1節 九州地方</p> <p>2節 中国・四国地方</p> <p>3節 近畿地方</p> <p>4節 中部地方</p> <p>5節 関東地方</p> <p>6節 東北地方</p> <p>7節 北海道地方</p>	<p>○日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活文化、他地域との結びつきを中核として考察し、地域的特色をとらえる。</p>	
3 学 期	<p>《歴史的分野》</p> <p>第5章 開国と近代日本の歩み</p> <p>1節 欧米における近代化の進展</p> <p>2節 欧米の進出と日本の開国</p> <p>3節 明治維新</p> <p>《地理的分野》</p> <p>第4章 地域の在り方</p>	<p>○欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどを通して、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。</p> <p>○開国の影響と幕府政治の動向、明治政府の政策などを通して、近世から近代への転換の様子を理解する。</p> <p>○市町村規模の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身に付ける。</p>	